

日本社会情報学会通信

Vol.22 No.4 2007.12.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

* 本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

JASI&JSIS 合同研究発表大会 研究発表募集について

学術委員会 委員長 廣松 毅

開催要項につきましては、改めて別途ご案内いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

研究発表につきましては、大会終了後に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第10回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第9回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご参照下さい。

多数の皆様を発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

JASI&JSIS 合同研究発表大会の開催要綱は現在検討中です。

決定後、下記の詳細をご案内いたします。

< JASI&JSIS 合同研究発表大会開催日、会場 >

日 時： 平成 20 年 9 月頃を予定

会 場： 東京大学

詳細ご案内予定

* 決定次第 学会ホームページに掲載 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>)

* 2008 年 4 月 1 日発行の学会通信に掲載

(本件に関する問合せ 学会事務局 TEL 0422-40-2062 / Mail jasi@jade.dti.ne.jp)

☆ 理事会報告 ☆

【第7回理事会報告】

日 時 平成19年7月28日（土）13:00-14:40

会 場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者（順不同敬称略）10人

遠藤、島田、富山、熊田、前田、福田、中井、五藤、安藤、和泉（恵）

議 事

- 1 委員会報告
- 2 理事選挙について
- 3 全国大会について
- 4 団体会員アンケートについて
- 5 英文学会誌について
- 6 その他

議事内容

- 1 資料にもとづき、第6回理事会議事録を承認した。
 - 2 資料にもとづき、安藤学術委員より、第1回大学院生発表大会開催についての報告があった。
 - 3 福田企画委員会委員長より、第107回定例研究会と会員アンケート調査実施についての報告があった。
 - 4 資料にもとづき、前田理事より第50回情報政策研究会報告と今後の予定について報告があった。
 - 5 五藤編集委員会委員長より、英文学会誌発刊の進捗状況についての報告があった。
当初ウェブ公開のみとしていたが、それに加え、会員分印刷配布することとなった。
 - 6 資料にもとづき、遠藤会長より次期理事選出結果について、選挙による選出理事25名と会長推薦理事13名について報告があり、それを承認した。
 - 7 資料にもとづき、事務局より経費収支、会員内訳の報告があった。
 - 8 資料にもとづき、来る9月8日会員総会における議案については協議の結果、
事業経過報告、収支中間決算、次年度役員承認の他、学会誌17巻2号再発刊の経緯説明を行うこととした。
 - 9 遠藤会長より、回覧資料の全国大会プログラムにもとづき、説明があった。
 - 10 その他、団体会員減少について、合同大会など学会運営全般について意見交換があった。
- 次回は9月1日10時 学習院大学

【第8回理事会報告】

日 時 平成19年9月1日（土）10:00-11:40

会 場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 8名（順不同）遠藤、太田、須藤、中井、平野、廣松、前田、和泉

議 事

- 7 委員会報告
- 8 会長選挙について
- 9 全国大会について
- 10 総会について
- 11 その他

議事内容

- 1 資料にもとづき、第7回理事会議事録を承認した。
- 2 資料にもとづき、前田理事より企画委員会および情報政策研究会の報告があった。
12月3日（月）に情報交流会実施を予定

- 3 資料にもとづき、遠藤会長より会長選挙結果として、次期会長に須藤理事、また次期監事に辻井理事、刀川理事が報告され、それを承認した。
 - 4 遠藤会長より、合同大会の進捗についての報告があった。
 - 5 総会資料にもとづき、会員総会、表彰授賞式についての確認を行った。
- 次回は11月6日(火)18時 学習院大学

【第9回理事会報告】

日 時 平成19年11月6日(火)18:00-19:20

会 場 学習院大学東2号館第一会議室

出席者 (順不同) 10名

遠藤、辻井、平野、佐藤、中井、五藤、安藤、尾関、須藤、和泉

議 事

1. 委員会報告
2. 全国大会報告
3. その他

議事内容

- 1 資料にもとづき、第8回議事録を承認した。
- 1 資料にもとづき、会員内訳、収支の報告があった。
入会10名、退会2名を承認した。
- 2 資料にもとづき、五藤理事より学術委員会報告があった。
英文誌については、当初12月発行より、遅れる予定であり、予算については、現時点で超過が見込まれる。
資料もとづき、安藤理事より第1回大学院生研究発表大会のプログラム等の説明があった。
- 3 資料にもとづき、佐藤氏より企画委員会報告があった。
会員アンケート集計結果および研究会開催についての進捗報告があった。
- 4 資料にもとづき、第22回全国大会決算の報告があり、それを承認した。
立替準備金および黒字分については、すでに本部へ入金済みと報告された。
- 5 平成20年度科研の応募については、情報社会経済システム研究部会(福田主査)で検討していることが報告された。
- 6 平成19年度総会については、平成20年6月中旬までに情報通信月間行事の研究会を開催し、その前後いずれかで行うこととした。
- 7 遠藤会長より、11月29日京都大学における横幹連合第2回コンファレンスを前に、事業に関するアンケートについて協議した。
- 8 須藤理事より、第23回全国大会について、9月開催(東京大学)で調整することが報告された。

次回は2月18日(月)18時 学習院大学

研究会報告

[第 51 回情報政策研究会]

第 108 回定例研究会と合同で開催

[第 52 回情報政策研究会]

日 時 平成 19 年 12 月 3 日 (月) 15:00 ~ 17:00

会 場 中央大学駿河台記念館 560 号室

講演者 総務省情報通信政策局地域通信振興課
課長 安藤英作氏

テーマ 『地域情報化の現状と課題』(仮題)

[第 108 回定例研究会]

担 当 情報社会経済システム研究部会 (主査 福田 豊)

日 時 2007 年 11 月 26 日 (月) 18:30-20:30

会 場 東京国際フォーラム会議室 G505

テーマ アメリカの自治体経営

報告 1 岡部一明 (愛知東邦大学)

報告 2 庄司昌彦 (国際大学)

パネルディスカッション

パネリスト 庄司昌彦 岡部一明 茶谷達雄 (都市情報システム研究所)

コーディネータ 福田豊 (電気通信大学)

[第 109 回定例研究会]予定

担 当 社会統計調査研究部会 (主査 遠藤 薫)

日 時 12 月 15 日 (土) 13:00-18:30

会 場 学習院大学東 2 号館 13 階大会議室

テーマ インターネット調査の課題と可能性

「インターネット調査回答者の特性」

厚生労働省 情報公開文書室長兼東京大学社会科学研究所准教授 本多則恵

「社会統計調査の歴史的現在 (仮)」

株式会社日経リサーチ 取締役 鈴木督久様

「社会調査・世論調査にインターネットをどう活用するか (仮)」

ネットレイティングス株式会社 代表取締役社長 萩原 雅之 様

[第 110 回定例研究会]予定

担 当 環境・教育・GIS研究部会 (主査 太田敏澄)

日 時 2008 年 1 月 25 日 (金) 10:30 ~ 17:00

会 場 電気通信大学情報システム学研究科棟 2 F 233 (大会議室), 中会議室

テーマ 第 14 回社会情報システム学シンポジウム

[第 111 回定例研究会]予定

担 当 : 企画委員会 (税所委員)

日 時 : 2008 年 2 月

会 場 : 中央大学駿河台記念館

テーマ : 「タイムビジネスの現状と展望 (課題)」

委員会報告

[学術委員会]

第8回学術委員会

<日時> 平成19年10月9日(火) 18:00~19:30

<会場> 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

<出席者> 安藤明之(東経大)、廣松毅(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、田中秀幸(東大)、遠藤薫(学習院大)、木村忠正(東大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、岡田勇(創価大) [敬称略]

<議事>

1. 前回議事録の承認
2. 不正論文に関する検討専門委員会について
3. 全国大会について
4. 大学院生発表会について
5. 学会ホームページについて
6. その他

次回は、12月5日(水) 19:00~、場所は東大大学院情報学環 6階実験室。

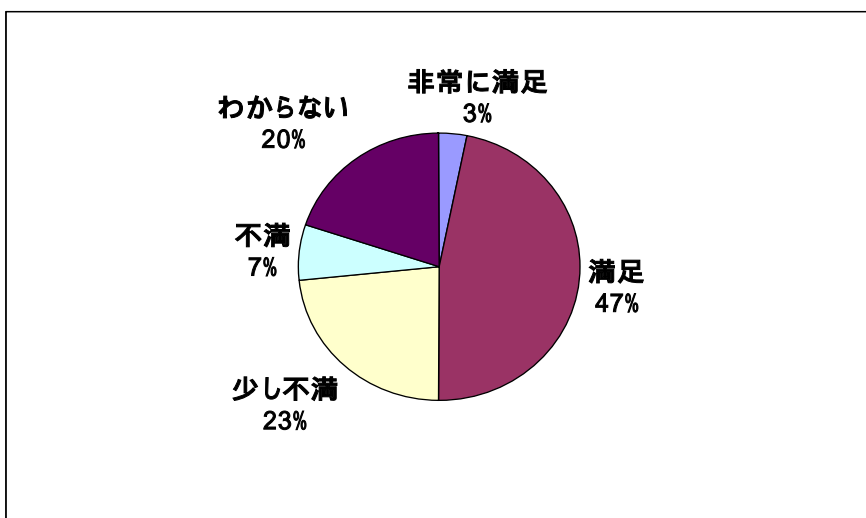
個人会員に対するアンケート結果

日本社会情報学会（JASI）企画委員会
2007年11月

実施期間：2007年8月1日～13日
 対象：日本社会情報学会 個人会員
 実施方法：メール添付にて配信
 配布数：374
 回収数：30（回収率8.0%）

1. 学会のサービスに対する満足度

満足度 50.0%（「非常に満足」「満足」の割合）



図表1. 学会のサービスに対する満足度（個人会員）

図表2. 学会のサービスに対する満足度（人数内訳）

| No | 回答 | 人数 |
|----|-------|----|
| 1 | 非常に満足 | 1 |
| 2 | 満足 | 14 |
| 3 | 少し不満 | 7 |
| 4 | 不満 | 2 |
| 5 | わからない | 6 |
| 計 | | 30 |

不満の原因（「少し不満」「不満」の意見から）

c. 少し不満：7

- ・会員の研究成果が、学会の日常活動を通じてでは、うかがい難い
- ・社会情報学の研究対象範囲が広範であるため、学会員全員が同じ方向を向かって研究を進める傾向が弱いように感じる。数年単位で重点研究分野を絞るか、セミナーごとに関心分野が共通する学会員を募ってプロジェクトチームのような形で運営するなどの工夫が必要だと思う。
- ・定期研究会、情報政策研究会は定期的に行われ学ぶことが多いので、可能な限り参加したいと思っています。日程や内容はできる限り早めに告知をお願いしたい。また、例えば、特定のテーマや幅広

いテーマで市町村の IT 推進担当者やエンドユーザ、研究者、開発事業者が参加し、情報交換、勉強会、特定テーマの調査研究等ができるような研究会設置も検討をお願いしたい。全国的な展開は困難なこと多いので地域限定しても可能かと思われます。

- ・ 1 . 時流に合った情報提供 HP の充実 2 . 会員人材の活用
- ・ 論文を投稿して審査結果の通知を受けるまで 6 カ月かかっている。もう少し期間を短縮できればありがたい。
- ・ 行事がややアカデミック（学際的）側になった感がするため。
- ・ 関連な議論ができる場が不足気味である。
- ・ 論文審査の基準や方針が今一つクリアでない

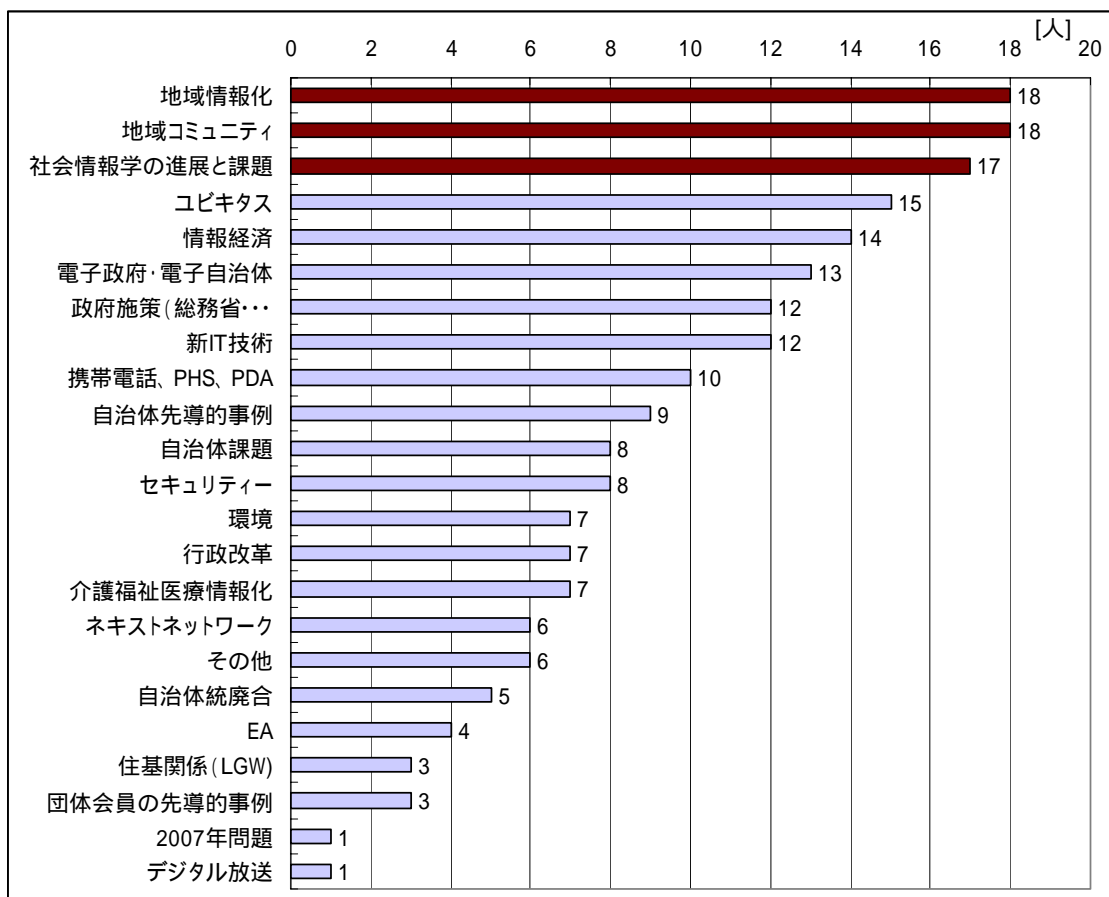
d. 不満 : 2

- ・ どちらの学会も同様ですが、活動拠点が東京であり、関西で活動する者にとって研究活動を支援するような機会が少ないように思います。
- ・ 1 . 学会の活動が見えてこない。一部の執行部だけで内輪の会話を行っているようにみえる。いま脱会を考えているほどである。 2 . 各種の研究会等の案内がない 3 . もっとメールでの情報交換を増やしてほしい。

2 . 関心のあるテーマ

個人会員が関心を寄せる 3 大テーマ

地域情報化
 地域コミュニティ
 社会情報学の進展と課題



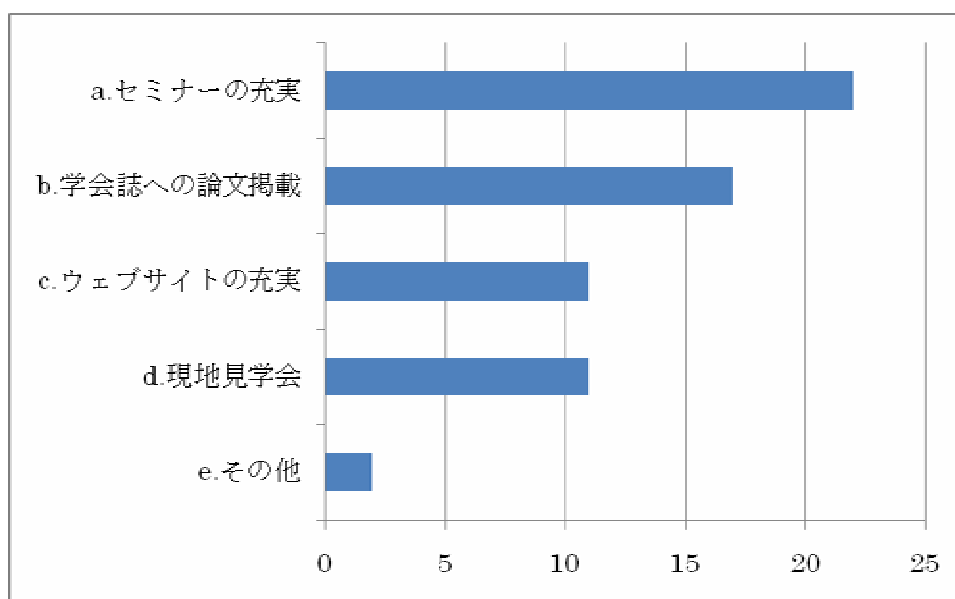
図表 3 . 関心のあるテーマ（個人会員）

「その他」の意見

- ・ 海外の地域コミュニティ
- ・ 個人情報保護
- ・ 生活情報化
- ・ 教育・学習活動への IT 利用
- ・ 日本社会情報学会の社会貢献（国や地方自治体等の行政機関との関係）

3. 学会に期待する活動やサービス

個人会員は **セミナーの充実** に期待している。



図表 4 . 学会に期待するサービス（個人会員）

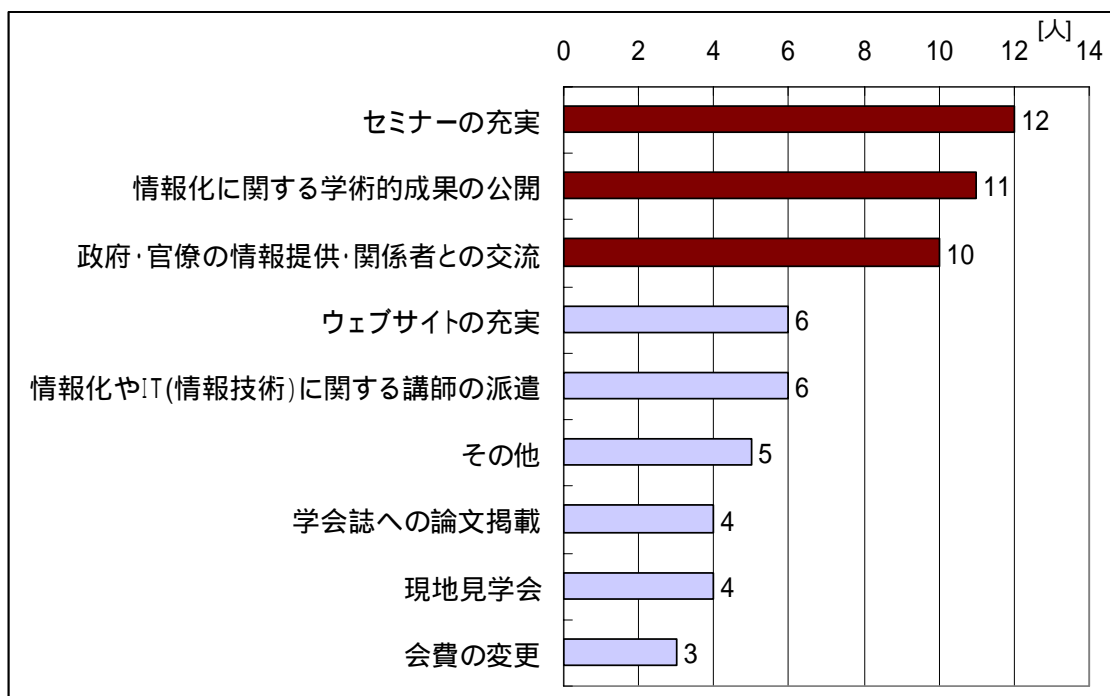
「その他」の意見

- ・ 政府、企業、NPO 等関係者との情報交換、海外の大学 / 学会との交流
- ・ 学会のシンクタンク化（国や自治体の政策立案などに関与）

4. 会員が所属する組織・団体が学会に入るために必要なこと

入会のために必要な 3 大項目

- セミナーの充実
- 情報化に関する学術的成果の公開
- 政府・官僚の情報提供・関係者との交流



図表5 . 学会入会のために必要なこと (個人会員)

「会費の変更(現行5万円/年 円くらい)」の意見

- ・2万円程度(2人)
- ・3万円程度(1人)(3万円は個人の判断で加入できる金額だから)

「その他」の意見

- ・社業に有益であること
- ・国立大学法人なので、団体加入は極めて困難かと思えます
- ・組織として学会に入会するのは難しいと思われる。
- ・既に参加済み
- ・わからないので回答できない

付録 1 : 学会のサービスに対する意見**a. 非常に満足 : 1**

- ・公募情報などをメールでいただいているため。

b. 満足 : 14

- ・小規模な学会としては、最大限の努力が感じられる
- ・WEB やメールによる適時の広報と学会通信や学会誌による定期的な情報発信を両立している点
- ・特に、満族でも、不満でもない。
- ・他の情報系学会と較べて、実社会との関係を重視しているから。ただしこれは相対的であって、十分とはいえない。
- ・きちんと連絡（学会誌送付を含む）をいただいている。
- ・定期的に発行される学会誌の内容
- ・別に、不満と感ずる点はないから。
- ・研究会がよい
- ・学会大会の運営など、お忙しい中、ご尽力いただき感謝しております。
- ・それぞれがご多忙の中、可能な範囲で協力し努力されておられること

c. 少し不満 : 7

- ・会員の研究成果が、学会の日常活動を通じてでは、うかがい難い
- ・社会情報学の研究対象範囲が広範であるため、学会員全員が同じ方向を向かって研究を進める傾向が弱いように感じる。数年単位で重点研究分野を絞るか、セミナーごとに関心分野が共通する学会員を募ってプロジェクトチームのような形で運営するなどの工夫が必要だと思う。
- ・定期研究会、情報政策研究会は定期的に行われ学ぶことが多いので、可能な限り参加したいと思っています。日程や内容はできる限り早めに告知をお願いしたい。また、例えば、特定のテーマや幅広いテーマで市町村の IT 推進担当者やエンドユーザ、研究者、開発事業者が参加し、情報交換、勉強会、特定テーマの調査研究等ができるような研究会設置も検討をお願いしたい。全国的な展開は困難なことも多いので地域限定しても可能かと思われます。
- ・ 1 . 時流に合った情報提供 HP の充実 2 . 会員人材の活用
- ・論文を投稿して審査結果の通知を受けるまで 6 カ月かかっている。もう少し期間を短縮できればありがたい。
- ・行事がややアカデミック（学際的）側になった感がするため。
- ・闊達な議論ができる場が不足気味である。 ・論文審査の基準や方針が今一つクリアでない

d. 不満 : 2

- ・どちらの学会も同様ですが、活動拠点が東京であり、関西で活動する者にとって研究活動を支援するような機会が少ないように思います。
- ・ 1 . 学会の活動が見えてこない。一部の執行部だけで内輪の会話を行っているように見える。いま脱会を考えているほどである。 2 . 各種の研究会等の案内がない 3 . もっとメールでの情報交換を増やしてほしい。

e. わからない : 6

- ・まだ入りたてで、特に学会などに参加を積極的にしているわけではない。ただ、著名人を呼んだり、趣向を凝らしたイベント設定を行ったりして、さらに改善できるところもあるかもしれない。
- ・入会直後であり、すでに入会しているほかの学会と比べることができない。

- ・まだ学生会員ということもあり、学会で行うサービスの程度や内容、扱っている範囲がよくわかりません。
- ・まだ入会して間もないので、学会の活動にあまり参加していないのでわかりませんが、入会からこれまでのところで不満はありません。
- ・まだ参加をして間もないので、評価するところまでいっていません。しかし、MLで大学教員公募のお知らせが流れてくるのはとても助かっています。
- ・「どのようなサービスがあるのかわからない」というのが正直なところです。

付録2：学会への意見・要望

- (1) 今後もこれまでと同様の活動を期待しております。
- (2) 入会して、数カ月しかたっていないので、意見等を申し上げることができません。入会前の当学会に対する意見としては、HPのコンテンツは充実しているが、肝心の学会自体の紹介が足りないように思いました。外部者からは、HPが学会の窓口になります。『学会の概要』をもう少し詳しくしてはどうでしょうか。
- (3) 学会事務局からの連絡は原則としてメールとし、紙媒体での連絡を求める会員と会費に差をつけてみてはどうか。
- (4) 実務現場の職員が、研究大会や研究会に参加することは仕事上から難しいのですが、参加することによるメリットをどのように見出すかが課題と思われます。例えば、学会の認知度を高めるうえで、セミナー開催で市町村との共催、自治体研修所との共催等も考えられるのではないのでしょうか。また、特定テーマの調査研究を市町村から受託形式で実施も可能かもしれません、現場の職員が、事例報告をできるように論文作成指導セミナーも有効かもしれません。
- (5) どんな人にとっても、多くの人に自分の見解を発表でき、それに対する様々な意見を聞けるような、オープンな雰囲気のある学会であることを目指すのは、とても大切なことではないか。
- (6) 1. 企業セミナーおよび企業内研修への講師派遣制度 会員および関連団体の人材DB作成による公開と活用 2. 団体会員の実践的テーマの研究会・セミナー 3. 理事構成 会員(40名 25名)、特任理事・執行理事の新設、若手の登用(理事の任期を2期) 4. 年間の研究テーマ設定による、研究会の設置(年4回程度) 関係団体・行政等への提言 ブログでの会員参加 5. 会長への補佐官(提言・事務業務 3名) 6. 団体会員の施設の活用
- (7) 全国大会の一般発表では、教室に発表者と関係者だけということもあります。もっと盛況になればと思います。
- (8) 川上領域を考察する学会として、政策よりのテーマに偏らないでほしい ・政策的テーマであれば、海外の視点を入れてほしい(行政、自治体関係者からしばしば自己肯定的な発言が見受けられるので、それを相対化できる)
- (9) 学会が学術団体である以上、研究会やセミナーでの研究発表は、テーマや内容の面で中立性や公平性が担保される必要があると思います。昨年末のジョンソンさんをお招きしたシンポジウムは内容も面白かったし、シンポジウム直後には知り合いになった他の参加者とディスカッションすることができ、大変意義があるテーマでした。事前の準備は大変だったと思いますが、今後もああいうシンポジウムをやって頂けたら大変勉強になります!
- (10) 当学会は昔と違ってかなり学際的になったと思います。最近企業会員が減少しているように感じます。学会という位ですから学際側に触れるのはやむを得ないと思いますが、会員増による会費等の収入を増やし、当学会活動を活性化するには企業会員に魅力のある事業を増やすことだと思います。例えば、企業の関心事、ビジネス機会の創造に貢献を期待できるテーマの取上げを増やしたらと思います。年会費に見合ったROIが見えるような企画が望まれます。学会誌の発行、論文掲載は企業側か

らみると評価しにくい面があると思います。また、個人会員も企業のOB、関係者の割合が大きいのではないのでしょうか。要は当学会の会員構成を分析し、また、会員増を期待するなら、それらに見合った事業を（戦略的＝選択と集中 に考え）行えばよいと思います。

(11) 私は大学院生なのですが、知った先生がいらっしやらないので、会費が1万円かかってしまいます。2年目からは通常学生会員と同額に減額していただける等の規則変更があれば大変ありがたいと思います。

(12) はじめにもどりますが、「どのようなサービスがあるのかわからない」「何をやっているのかわからない」というのが正直なところです。

(13) テーマが広すぎてあまり明確ではない。代表的テーマをあらかじめ設定しておくとうい。それ以外は自由でよいけれど。

(14) 社会情報学会の特色を明確にしてほしい。

(15) JSIS との統合努力を継続 ・産官学の協働 ・団体会員の増加への努力

(16) 学会活動を 研究の支援・促進 情報の提供 研究者の交流 という3領域に分けてその活動の強化を図ってみてはいかがでしょうか。

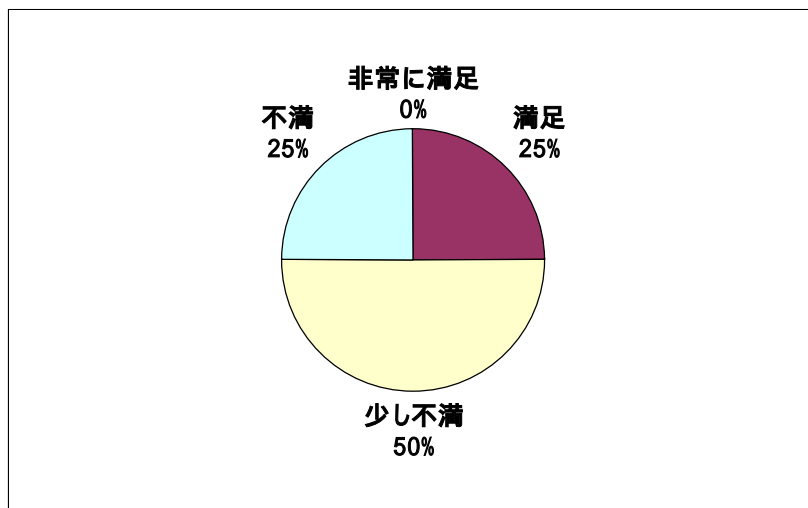
法人会員に対するアンケート結果

日本社会情報学会（JASI）企画委員会
2007年11月

| | |
|------|----------------|
| 実施期間 | ：2007年8月1日～13日 |
| 対象 | ：日本社会情報学会 法人会員 |
| 実施方法 | ：メール添付にて配信 |
| 配布数 | ：27 |
| 回収数 | ：4（回収率 14.8%） |

1. 学会のサービスに対する満足度

満足度 25.0%（「非常に満足」「満足」の割合）



図表1. 学会のサービスに対する満足度（法人会員）

図表2. 学会のサービスに対する満足度（法人数内訳）

| No | 回答 | 法人数 |
|----|-------|-----|
| 1 | 非常に満足 | 0 |
| 2 | 満足 | 1 |
| 3 | 少し不満 | 2 |
| 4 | 不満 | 1 |
| 5 | わからない | 0 |
| 計 | | 4 |

不満の原因（「少し不満」「不満」の意見から）

c. 少し不満：2

- ・企業側からの情報化による社会的ニーズの解決した事例などを発表する機会を与えてください。
- ・自省を込めて企業団体会員向けのサービスが十分でない。産学官が共同で取り組めるプロジェクトを模索して参画意識を醸成していく必要がある。

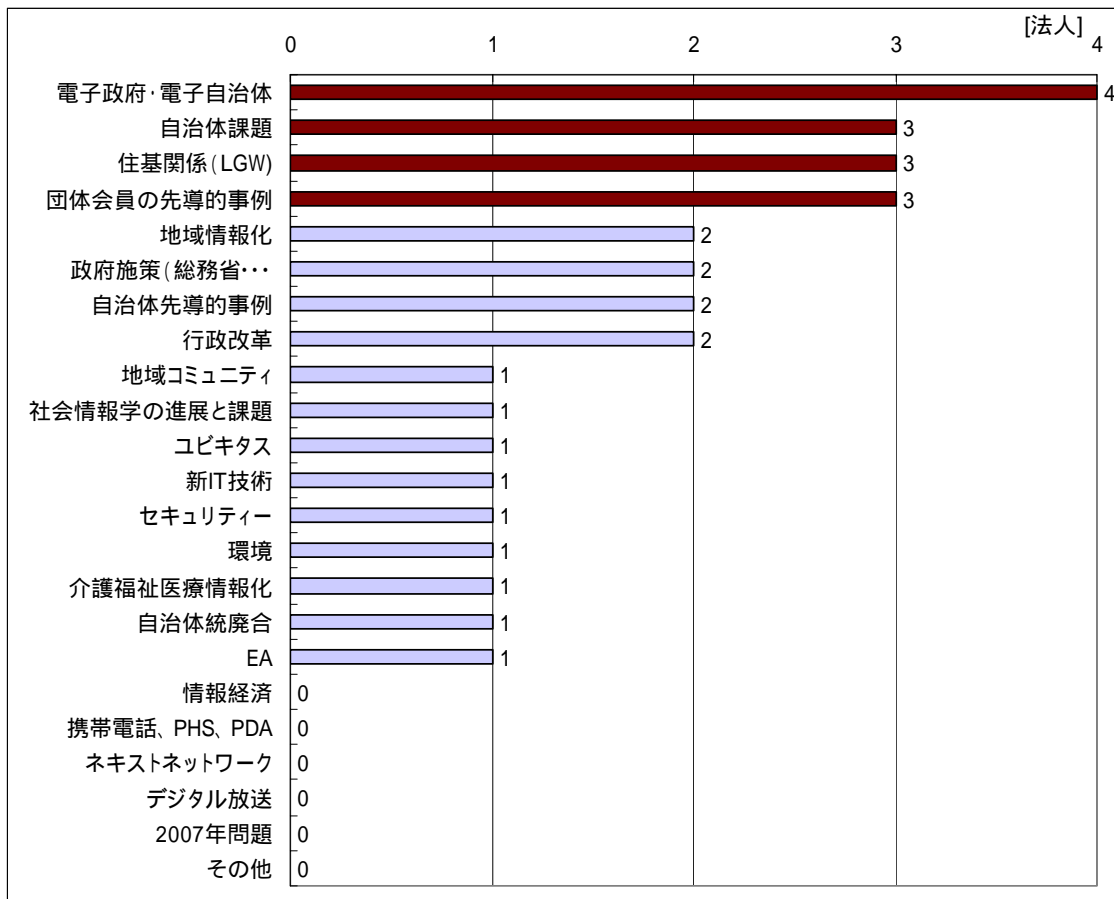
d. 不満：1

・以前に比べ、セミナーや研究会などの開催が少ない。また、あったとしても実務的な内容から離れており、関心をひかない。都市情報学会のときは、もっと自治体の実務に沿った問題提起や議論があり、政府などに政策提言をしていたと思う。最近ではアカデミックかもしれないが、政策提言などの動きがほとんどなく、学会としての存在意義に疑問を持っている。自治体や社会のための研究ではなく、研究者のための研究になっていないか。

2. 関心のあるテーマ

法人会員が関心を寄せる4大テーマ

- 電子政府・電子自治体
- 自治体課題
- 住基関係(LGW)
- 団体会員の先導的事例

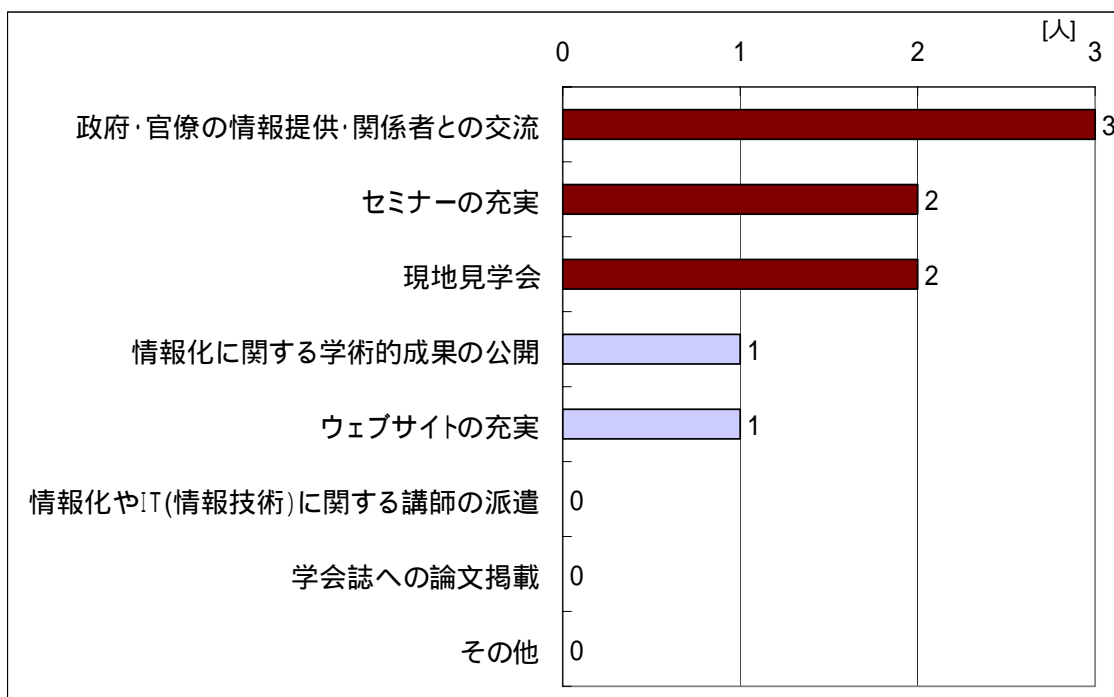


図表3. 関心のあるテーマ(法人会員)

3. 学会に期待する活動やサービス

法人会員は

政府・官僚の情報提供・関係者との交流に期待している。



図表4．学会に期待するサービス（法人会員）

回答法人名

- ・株式会社 ジェイエスキューブ
- ・NTT データクリエイション(株)
- ・富士ゼロックス株式会社
- ・富士通総研

付録1：学会のサービスに対する意見**a.非常に満足：0****b.満足：1**

・定期的なセミナー開催を通じて、政府・官庁関連の情報提供をして頂いている点 ・会員相互の情報共有 / 交流が図れる点

c.少し不満：2

・企業側からの情報化による社会的ニーズの解決した事例などを発表する機会を与えてください。
・自省を込めて企業団体会員向けのサービスが十分でない。産学官が共同で取り組めるプロジェクトを模索して参画意識を醸成していく必要がある。

d.不満：1

・以前に比べ、セミナーや研究会などの開催が少ない。また、あったとしても実務的な内容から離れており、関心をひかない。都市情報学会のときは、もっと自治体の実務に沿った問題提起や議論があり、政府などに政策提言をしていたと思う。最近はアカデミックかもしれないが、政策提言などの動きがほとんどなく、学会としての存在意義に疑問を持っている。自治体や社会のための研究ではなく、研究者のための研究になっていないか。

e.わからない：0**付録2：学会への意見・要望**

(1) 貴学会に対しての期待する活動でもコメントさせていただきましたが、ぜひ政府・官庁の情報提供・関係者との交流を進めていただきたいと思います。

(2) 学会として、政府に対して政策提言などをすべき。

(3) 電子政府・電子自治体に関しては、当初の「行政を改革する」という理念が失われている。学会としてもっと追及すべきではないか。

(4) 最近の年金問題について、(情報処理技術の問題として)学会として何も発言しないのか。

(5) 地方制度に関して、地方分権改革推進委員会、道州制ビジョン懇談会、第29次地方制度調査会といった政府レベルの会議が開催され、今後地方制度および国の形が大きく変化しようとしている。このような大改革の時代にITがどのように貢献できるのか、という視点で学会を盛り上げていくことはできないだろうか。

平成20年度・学会賞候補推薦について

平成20年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

< 表彰候補者の推薦締め切り >

| 種 類 | 締 切 日 | 推薦要領掲載案内予定 |
|-------------|-------------|----------------------|
| 大学院学位論文賞 | 20年4月11日(金) | 学会通信 12/1、4/1 HP 2/末 |
| 優秀文献賞 | 20年5月23日(金) | 学会通信 4/1 HP 2/末 |
| 優秀論文賞 | 同 上 | 学会通信 4/1 HP 2/末 |
| 論文奨励賞 | 同 上 | 学会通信 4/1 HP 2/末 |
| 学会功労賞 | 20年6月20日(金) | 学会通信 4/1 HP 2/末 |
| 社会情報システム貢献賞 | 同 上 | 学会通信 4/1 HP 2/末 |
| *「秋山穰賞」 | | 別途選考要綱に基づく |

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

*各賞の推薦要領については、別途、学会通信(2008.4.1発行)および学会ホームページに掲載致します。

[功労選考委員会]

選考区分： ・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分： ・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

各推薦書は、コピー(A4に拡大)してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

(2月中旬以降)

平成19年12月1日

日本社会情報学会

第10回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 遠藤 薫

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

- 1. 受付期限 平成20年4月11日(金)*必着
- 2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
- 3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
- 4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
- 5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____ 研究科
_____ 大学 _____ 専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

[受付] 平成 年 月 日 [受付者氏名]

日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究発表大会報告

実行委員長

和泉 潤（名古屋産業大学）

平成19年9月8～10日に開催された大会は、受付参加者総数は257名で、盛況のうちに幕を閉じました。基調講演および討論、一般研究報告（74件）、J A S I ・ j S I S 合同ワークショップ（4件）、GISチュートリアル、GISワークショップ、特別講演、自治体ワークショップが3日に渡り開催されました。これもひとえに会員皆様の熱意の表れと存じ、深く感謝いたします。また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

【開催概要】

2007年日本社会情報学会（JSIS）（JASI）合同研究大会

統一テーマ「激動の時代に挑戦する社会情報学」

開催日時 2007年9月8日（土）-10日（月）

開催校：名古屋大学

日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究発表大会プログラム次第

第1日目：9月8日（土） 会場：I B 電子情報館、工学部7号館1階

- 9:00 受付開始 （I B 電子情報館1階）
- 9:30-11:30 自由報告部会
（I B 電子情報館1階、工学部7号館1階）
- 12:00-13:30 JSIS・JASI 総会・理事会・評議員会
- 14:00-18:15 基調講演（I B 電子情報館2階 大講義室）
講演者：吉田民人（日本学士院会員・東京大学名誉教授）
「社会情報学の時代超越性と時代被拘束性」
講演者：下田博次（群馬大学大学院教授・ねちずん村村長）
「思春期メディアとしての携帯電話の利用問題」
- 18:30- 懇親会（名古屋大学内 花の木）

第2日目：9月9日（日） 会場：I B 電子情報館、工学部7号館1階

- 9:00 受付開始 （I B 電子情報館1階）
- 9:20-10:50 自由報告部会
（I B 電子情報館1階、工学部7号館1階）
- 11:00-12:30 自由報告部会
（I B 電子情報館1階、工学部7号館1階）
- 13:30-15:00 自由報告部会
（I B 電子情報館1階、工学部7号館1階）
- 15:10-17:10 合同ワークショップ
（I B 電子情報館1階、工学部7号館1階）

第3日目：9月10日（月） 会場：I B 電子情報館

- 9:00 受付開始 （I B 電子情報館1階）
- 10:00-10:30 GIS チュートリアル
- 10:30-12:00 GIS ワークショップ

13:00-14:00 特別講演 テーマ:「逆発想・新発想」
 講演者 福田泰弘(トッパン・フォームズ株式会社代表取締役会長)
 14:10-16:20 自治体 GIS ワークショップ

第1日目・第2日目 自由報告部会&合同ワークショップ

自由報告部会 9月8日(土)9:30-11:30

1 国際研究部会 (IB電子情報館 011講義室)

「欧米における電気通信政策をめぐる政府間関係に関する一考察:ユニバーサルサービス制度を事例に」清原聖子(東京大)

「東アジアにおけるICT製造業の相互依存関係に関する実証分析」田中秀幸(東京大) 劉昱立(東京大)

「モバイル・インターネットにおける日韓の産業構造分析」藤原正弘(東京大)趙章恩(韓国ITジャーナリスト)田中秀幸(東京大)

「スロヴェニアにおける外国語としての日本語学習環境の整備」Linda Marusic(リュブリャナ大)岩井淳(群馬大)

2 メディアと生活部会 (インターネット)

(IB電子情報館 013講義室)

「サイバースペースにおける相互的修習 情報倫理学の視点から」曾我千亜紀(愛知県立芸術大)清水高志(名古屋大)米山優(名古屋大)

「ゲーム化する情報社会における<私>の倫理」吉田寛(静岡大)

「インターネット上の道徳に対する性別と個人的関係の影響」伊勢田哲治(名古屋大)奈良由美子(放送大)

「MMORPG(マッシュプリー・マルチプレイヤー・オンライン・ロールプレイング・ゲーム)におけるジェンダー・スイッチングに関する一考察」根村直美(日本大)

3 電子コミュニティ部会 (IB電子情報館 014講義室)

「CMSの活用による市民を主体とした地域ポータルサイトの管理・運営」近藤真由(名古屋大)後藤昌人(金城学院大)服部哲(神奈川工大)安田孝美(名古屋大)横井茂樹(名古屋大)

「コミュニティ活性化と発言内容についての分析 藤沢「くらし・まちづくり会議室」の発言傾向」平本一雄(東京工科大)山下加奈恵(東京工科大)木村友一(株式会社アイコール)

「電子コミュニティの分析 地域SNSにおけるコミュニティ形成の分析」平本一雄(東京工科大)山下加奈恵(東京工科大)鈴木優子(株式会社プリンスホテル)

「過疎地域と都市部地域との交流事業を支援するバーチャルコミュニティの設計」吉田千穂(名古屋大)安田孝美(名古屋大)横井茂樹(名古屋大)

4 情報システム部会 (IB電子情報館 015講義室)

「ソーシャルブックマークを利用した研究情報共有システムの開発」安達隆(名古屋大)横井茂樹(名古屋大)安田孝美(名古屋大)

「知識伝播モデルとその実証研究」田村泰彦(群馬大)

「研究の記録と公開のためのWebシステムの提案」西村美咲(名古屋大)横井茂樹(名古屋大)安田孝美(名古屋大)

「企業オフィスにおけるITユーザの業務行動解析」小畑喜一(工学院大)

5 メディアと生活部会 (ケータイ) 7号館 701講義室)

「ケータイ・コンテンツ市場の構造と進化の分析」小見志郎(県立広島大)

「高校生世代における携帯電話の利用実態に関する比較分析」毛利康秀(日本大)

「携帯電話の利用・消費を介した家庭・家族の構築」天笠邦一(慶應義塾大)加藤文俊(慶應義塾大)

6 情報教育部会 (7号館 702講義室)

「mラーニングにおける自律型学習モデルに関する研究」谷井宏尚(電気通信大)諏訪博彦(電気通信大)太田敏澄(電気通信大)

「MIRA project」Yulotli Perez(名古屋大)

「有料会員制掲示板を利用したクイズ形式の学習スタイルの提案」竹内俊彦(茨城大)加藤由樹(東

京福祉大)加藤尚吾(早稲田大)

「高齢者とそのサポート団体のためのコミュニティサイトの試作」松本早野香(名古屋大) 横井茂樹(名古屋大)

7 電子コミュニティ部会 (7号館 703 講義室)

「地域情報交流基盤による「地域力」強化の可能性について」河井孝仁(東海大)

「Web-GIS を用いた道路管理業務支援システムの開発」吉田和正(同志社大)中村喜輝(同志社大)寺田守正(京都府)吉澤憲治(同志社大)古畑貴志、(同志社大)矢野高一(同志社大)井上明(甲南大)金田重郎(同志社大)

「地域環境活動支援のための Web-GIS の構築」川見雅史(電気通信大)諏訪博彦(電気通信大)山本佳世子(電気通信大)太田敏澄(電気通信大)

自由報告部会 9月9日(日)9:20-10:50

1 基礎理論部会 (IB電子情報館 011 講義室)

「初期カルチュラル・スタディーズにおける疎外概念の抽出 ホガート、ヘブディッジを手がかりとして」加藤裕康(神戸親和女子大)

「デジタルコンテンツの著作権処理に関する研究 コモンズ問題とアンチコモンズ問題」金野和弘(岡山学院大・独立行政法人科学技術振興機構)

「CMCのメディア特性再考 CMCへの身体的実践アプローチから」平本毅(立命館大)

2 メディアと生活部会 (インターネット)

(IB電子情報館 013 講義室)

「インターネットの匿名性による Deindividuation とオンライン・コミュニティの秩序」森岡武史(北海道大)

「インターネット利用における匿名性選択の分析」近藤勝則(総務省情報通信政策研究所)

「インターネット掲示板での意見招請の可能性に関する定量的分析」福本徹(国立教育政策研究所)

3 情報システム部会 (IB電子情報館 014 講義室)

「ソフトウェア開発コミュニティにおける信頼感生成プロセスの可視化」沼田秀穂(電気通信大)福田豊(電気通信大)

「ヴァーチャルチームにおける自動検索を用いた情報システム」Florin Perpelescu(名古屋大)米山優(名古屋大)

「情報セキュリティレベルに応じたネットワーク利用資格制度導入の提言」佐藤直(情報セキュリティ大学院大)岡田康義(情報セキュリティ大学院大)

4 地域情報システム部会 (IB電子情報館 015 講義室)

「一般廃棄物処理事業における地域協働の実態に関する研究 愛知県一宮市を事例として」高橋幸佑(電気通信大)山本佳世子(電気通信大)

「地方生活圏における消費特性の比較研究」嶋崎真仁(秋田県立大)備前鉄男(秋田県立大)岸川善紀(秋田県立大)住田友文(秋田県立大)

「A study of social inclusion and ICT engagement in chusankanchiiki (Mountainous) areas」Stuart Healey(金沢大)

5 メディアと生活部会 (情報行動) (7号館 701 講義室)

「生活者主体の地域社会調査プラットフォームのデザイン」天笠邦一(慶應義塾大学)

「家計消費支出による生活情報化の定量把握」佐藤佳弘(武蔵野大)

「情報化社会における情報関連 QOL 指標の開発」宮本和明(創価大)坂部創一(創価大)

自由報告部会 9月9日(日)11:00-12:30

1 基礎理論部会 (IB電子情報館 011 講義室)

「シンボルとしての情報」石川真也(名古屋大)

「情報定義に内在する静的視座と動的視座」桑原(中島)尚子(東京大)

「情報の複文定義2 - 記号論的考察」田中一(北海道大学名誉教授)中戸川孝治(北海道大)長田博泰(札幌学院大)

2 電子コミュニティ部会 (I B 電子情報館 0 1 3 講義室)

「集合的創造における遊びの役割についての考察」樺島榮一郎(東京大)

「Web コミュニティにおける知人関係形成に関する一考察」橋本渉(東京大)河井延晃(東京大)椋本輔(東京大)西垣通(東京大)

「オンラインコミュニティの形成過程に関する考察 学習コンテンツの無償公開を核として」村山直紀(電気通信大)福田豊(電気通信大)

3 情報システム部会 (I B 電子情報館 0 1 4 講義室) 「GoogleMapsAPI を用いた地域の消費者ニーズ発信システムの提案」 関愛弓(名古屋大)安田孝美(名古屋大)横井茂樹(名古屋大)

「ブログ言及数と消費者行動との関係性の調査」長谷川真吾(電気通信大)藤村考(NTTサイバーソリューション研究所)

「インターネット掲示板と株式指標の関係に関する研究」丸山健(電気通信大)梅原英一(株式会社野村総合研究所)諏訪博彦(電気通信大)太田敏澄(電気通信大)

4 地域情報システム部会 (I B 電子情報館 0 1 5 講義室)

「オープンソース・ソフトウェアの生産性と地域情報産業振興」野田哲夫(島根大)

「インタンジブルズに着目した地域情報化投資の評価に関する研究」田中秀幸(東京大)杉山幹夫(特定非営利活動法人シビックメディア・北海道東海大学)

「地域特性の変容と地場産業のドメインシフトに関する研究」岸川善紀(秋田県立大)嶋崎真仁(秋田県立大)住田友文(秋田県立大)

5 メディアと生活部会 (情報行動) (7号館 701 講義室)

「伝達形態別にみたうわさの伝達に影響する要因」竹中一平(日本学術振興会・筑波大学)

「緊急地震速報」に関する人々の意識と評価」中森広道(日本大)

「情報操作と社会現象 6 ウクライナ大統領候補のダイオキシン中毒事件とマスコミ報道」林俊郎(目白大)石丸梓(目白大)

自由報告部会 (13:30-15:00)

1 基礎理論部会 (I B 電子情報館 0 1 1 講義室)

「メディアコスモスとしてのサイバースペース」山田庸介(名古屋大)

「顔と顔貌性」井上寛雄(名古屋大)清水高志(名古屋大)米山優(名古屋大)

「失われた空間を求めて --- 「空間」の視点が捉える B2C のダイナミクス ---」高橋康人(一橋大)

2 情報ガバナンス部会 (I B 電子情報館 0 1 3 講義室)

「自治体ポータルサイト改善効果の考察 八王子市を例として」平本一雄(東京工科大)上野亮(東京工科大)

「自治体広聴制度の現状と課題」本田正美(東京大)

「行政手続きにおける申請者の行動特性分析実験」川口弘行(芝浦工業大)

3 医療情報部会 (I B 電子情報館 0 1 4 講義室)

「医療情報と社会」国島義明(株式会社富士通総研)

「地域医療サービスの存続条件に関する研究」嶋崎真仁(秋田県立大)岸川善紀(秋田県立大)住田友文(秋田県立大)

「訪問介護サービス管理における IT 活用とその実証実験について」今井雄一(トッパン・フォームズ株式会社・特定非営利活動法人ネットワーク行政推進機構)秋山直人(トッパン・フォームズ株式会社・特定非営利活動法人ネットワーク行政推進機構)菅沼満(トッパン・フォームズ株式会社)

高橋賢司(トッパン・フォームズ株式会社)久下谷正行(トッパン・フォームズ株式会社)土屋洋之(トッパン・フォームズ株式会社)米田奈美子(トッパン・フォームズ株式会社)五藤寿樹(日本橋学館大学・特定非営利活動法人ネットワーク行政推進機構)

4 シミュレーション部会 (I B 電子情報館 0 1 5 講義室)

「共購買情報を用いた多様性のある推薦アルゴリズムの提案 Amazon.co.jp の関連商品ネットワークを用いて」小川祐樹(電気通信大)諏訪博彦(電気通信大)山本仁志(立正大)岡田勇(創価大)太田敏澄(電気通信大)

- 「間接互惠性概念を用いた社会政策型地域通貨の研究 タイムダラー型モデルのシミュレーション結果から」 小池心平（東京工業大）中井豊（芝浦工業大）中丸麻由子（東京工業大）
- 「テーマパーク問題に対する二次元セルオートマトンを用いた利用者行動のシミュレーション」 浅見拓哉（電気通信大）関良明（NTT情報プラットフォーム研究所）
- 5 地域情報システム部会 （7号館 701 講義室）
- 「地域情報化のためのデータ放送コンテンツとその評価」 浦正広（名古屋大）林茂実（パナソニックSSマーケティング株式会社）中村浩司（瀬戸市）山田雅之（中京大）遠藤守（中京大）宮崎慎也（中京大）安田孝美（名古屋大）横井茂樹（名古屋大）
- 「県域情報化政策におけるCATV整備・活用のねらい・意義とその課題」内田康人（育英短期大）
- 「コミュニティ・ケーブルのネットワーク化の現状と課題 - ケーブルテレビ局における取り組みを中心にして - 」 川又実（東京経済大）牛山佳菜代（東京経済大）姜英美（東京経済大）
- 6 情報教育部会 （7号館 702 講義室）
- 「社会情報学の教育とカリキュラムの変遷 米沢女子短期大学社会情報学科の事例」上原施門（埼玉工業大）
- 「実システム開発を通じた社会連携型PBLの実践」金田重郎（同志社大）井上明（甲南大）
- 「知識の実践的活用教育のための教材開発」 山本秀男（一橋大）吉川厚（東京工業大）

JSIS&JASI 合同ワークショップ （15:10-17:10）

第1ワークショップ （IB電子情報館 011 講義室）

テーマ：社会シミュレーション - シミレーションが切り拓く社会情報学 -

問題提起者：太田敏澄（電気通信大）和泉潤（名古屋産業大）

鳥海不二夫（名古屋大）

コーディネーター：中井豊（芝浦工業大）

第2ワークショップ （IB電子情報館 013 講義室）

テーマ：個人情報保護法の理想と現実

コーディネーター：須藤修

第3ワークショップ （IB電子情報館 014 講義室）

テーマ：少子高齢社会に社会情報学は何ができるか

司会：伊藤守（早稲田大）服部哲（神奈川工科大）

指定討論者：柴田邦臣（大妻女子大）吉田千穂（名古屋大・NEDO）

竹之内禎（東京大）竹原正篤（マイクロソフト株式会社）

コメンテータ：中村広幸（芝浦工業大）井村保（中部学院大）

高橋徹（札幌学院大）

コーディネーター：柴田邦臣（大妻女子大）服部哲（神奈川工科大）

第4ワークショップ （IB電子情報館 015 講義室）

テーマ：「社会情報学の分野における情報教育に関するワークショップ」

問題提起者：阿部圭一（愛知工業大学）黒葛裕之（関西大学）

討論者：田村泰彦（群馬大学）

コーディネーター：黒葛裕之（関西大学）

第3日目：9月10日（月） 会場：IB電子情報館

GIS チュートリアル （10:00-10:30）

テーマ：「GISの利用動向と課題」

講師：山本佳世子（電気通信大）

GIS ワークショップ （10:30-12:00）

テーマ：「環境教育におけるWeb-GISの利用」

問題提起者：山本佳世子（電気通信大）諏訪博彦（電気通信大）

コーディネーター：太田敏澄（電気通信大）

特別講演 (13:00-14:00)

テーマ:「逆発想・新発想」

講演者: 福田泰弘(トッパン・フォームズ株式会社代表取締役会長)

自治体GISワークショップ (14:10-16:20)

テーマ:「地域への期待を創るGIS -地域の表現を考える-」

問題提起者: 吉田稔(西宮市) 小林哲也(三重県) 加藤久登(東郷町)

前田圭士(ゲームシナリオライター) 他1名(交渉中)

コーディネーター: 久保 貞也(摂南大学)

平成19年度総会報告

日 時 平成19年9月8日(月) 12:00~12:45
会 場 名古屋大学

[開催次第]

司会 須藤総務委員会委員長

1 会長挨拶

遠藤薫会長より、開会挨拶。

2 議長の選出

定款31条により、遠藤会長が議長となる。

3 総会の成立

須藤総務委員長より、定款第33条にもとづき、正会員数393名のうち出席会員21名、委任状提出会員86名であり、正会員の1/4を超えているとの報告により、本総会は成立した。

4 議事

審議にあたり、書記(山本佳代子氏)、議事録署名人(安藤明之氏、佐藤佳弘氏)が指名され、承認された。

下記の各議案につき、議長、各委員長、事務局より報告と提議がなされ、原案通り承認した。

第1号議案 平成19年度 事業経過報告

第2号議案 平成19年度 収支中間決算(仮)

第3号議案 新役員の承認(理事・会長・監査人)

その他学会運営に関する事項

<平成19年度学会賞の表彰の実施>

* 表彰者および内容は、本学会通信へ別記してあります。

<平成19年度総会資料>

* HPに公開しています。

【第1号議案 平成19年度事業経過報告】

【総務委員会所管】(委員長 須藤 修)

委員会構成

総務委員会委員長:須藤 修(東京大学)

総務委員会委員:順不同・敬称略

後藤玲子(茨城大学)

榊 俊吾(東京工科大学)

富山慶典(群馬大学)

前田隆正(「SOHO CITYみたか」推進協議会)

渡辺慶和(岩手県立大学)

和泉恵子(事務局)

1. 定例会議の企画、運営

会員総会 1回(9/8)

理事会 8回(11/13,12/4,1/22,2/5, 3/8,5/26,7/2,7/28,9/1)

評議員会 1回(9/8)

2. 学会通信の発行

3回発行 Vol.22-1(12月1日) Vol.22-2(4月1日) Vol.22-3(8月1日)

3. ホームページ管理

掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等

* 学会賞受賞者一覧掲載。

4. 財務管理

・会費の徴収(未納者への督促強化)

・平成19年度収支決算

・平成20年度収支予算作成

* 経費削減方策の検討による予算への反映

5. 名簿の発行 4月発行

6. 会員管理 *8/未現在

・平成19年度会員増減

| 種類 | 入会 | 退会 | |
|-------|----|----|----|
| 個人正会員 | 28 | 25 | 3 |
| 団体正会員 | 1 | 8 | -7 |
| 計 | 29 | 33 | |

・会員数推移

| 種類 | 18.8 | 19.8 | 増減 | 備考 |
|-------|------|------|-----|----|
| 個人正会員 | 401 | 376 | -25 | |
| 団体正会員 | 35 | 27 | -8 | |
| 計 | 436 | 403 | -33 | |

[企画委員会所管] (委員長 福田 豊)**委員会構成**

企画委員会委員長: 福田 豊 (電気通信大学)

企画委員会委員: 安藤 明之 (東京経済大学)
河又 貴洋 (長崎県立シーボルト大学)
国島 義明 (株富士通総研)
佐藤 佳弘 (株情報文化総合研究所)
増淵 勝典 (調布市)
税所 哲郎 (関東学院大学)
前田隆正 ('SOHO CITYみたか' 推進協議会)**第1回企画委員会**

日時 3月5日(月) 18:30-20:00

会場 電気通信大学

出席者 福田、佐藤、税所、安藤

議題

- 1 平成18年度活動の総括
- 2 平成19年度定例研究会企画運営方針について
- 3 研究会運営担当について
- 4 団体会員向けアンケート設問のとりまとめ

第2回企画委員会

日時 2007年5月19日(土) 17:00-18:30

場所 電気通信大学 西6号館501室

出席者 国島 佐藤 福田

議題

- 1 団体会員向けサービスアンケート案について
- 2 情報政策研究会の位置づけについて

第105回定例研究会**[特別企画 国際シンポジウム]**

文部科学省平成18年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)

テーマ 「コミュニティ資源の形成とICT - 意思としてのコミュニティ形成 - 」

日時 平成18年12月23日(土) 14:00-17:00

会場 東京国際フォーラム

講演 スティーブ・ジョンソン(米国ポートランド州立大学)

シンポジウム

パネリスト スティーブ・ジョンソン、

岡部一明(東邦学園大学)、福田豊(電気通信大学)

コーディネーター 須藤修(東京大学)

第106回定例研究会

日時: 平成19年5月19日(土) 13:30-17:00

会場: 中村学園大学(〒814-0198 福岡県福岡市城南区別府5-7-1)

主催: 日本社会情報学会(JASI)

共催: 日本社会情報学会九州支部

協賛: 情報通信月間推進協議会

テーマ 「情報ネット社会経済のマクロとミクロの深層~情報革命は社会経済のネットワーク構造に何をもたらすのか~」

基調講演1 「情報技術革新と経済成長: 人口制約を乗り越えられるか」

篠崎彰彦(九州大学大学院経済学研究院)

基調講演2 「ネットワーク認知の課題と可能性

- 組織内、組織間、そして市民のソーシャルキャピタル」

安田雪（社会ネットワーク研究所所長

兼東京大学ものづくり経営研究センター特任準教授）

パネル・ディスカッション

テーマ「情報ネット社会経済におけるネットワーク構造転換」

コーディネーター 河又貴洋（県立長崎シーボルト大学）

パネリスト 篠崎彰彦（九州大学大学院経済学研究院）

財部忠夫（中村学園大学）

第107回定例研究会

日時 平成19年7月14日（土）15：00-17：00

会場 (株)富士通総研大会議室

テーマ 医療情報とソーシャルネットワーク

研究発表1 「社会資源としての患者会：IT時代における新しい患者コミュニティの到来」

和田 ちひろ（いいなステーション代表）

研究発表2 「メディアドクター実証実験から見たこと」

武末 文男（厚生労働省 医薬食品局 血液対策課課長補佐）

研究発表3 「ITとMedicina Nova（患者学）」

田中 祐次（東京大学医科学研究所客員助手）

研究発表4 「医療情報のコピキタス化を考える 個人と社会の視点から」

野村 真弓（特定非営利活動法人 日本医学交流協会医療団）

パネルディスカッション

テーマ 「医療情報とソーシャルネットワーク」

コーディネーター 鈴木 淳夫（株富士通）

パネリスト 研究発表者各位

刀川真（室蘭工業大学情報メディア教育センター）

情報政策研究会の実施報告（情報政策研究会 前田隆正）**メンバー構成**

主査 前田隆正（「SOHO CITYみたか」推進協議会）

委員 上田まゆみ（NTTデータクリエーション）

梅原寿夫（東洋オフィスメーション）

佐藤文一（東北通信建設）

茶谷達雄（都市情報システム研究所）

平林幹朗（キャリアアップ企画）

藤田弥生（NTTデータ）

山本秀男（一橋大学大学院）

吉井史郎（千葉県情報サービス産業協会）

尾関敬二（特別区職員研修所）

第1回会合

日時 2007.1.19（金）16:00-18:00

場所 三鷹産業プラザ「コミュニティビジネスサロン」

参加 前田隆正、茶谷達雄、山本秀男、尾関敬二、吉井史郎、梅原寿夫、

佐藤文一、平林幹朗（8名）

検討内容

1. 課題の確認と対応

2. 当面の開催案

第2回会合

日 時 2007年3月30日(金)午後6時-8時
場 所 三鷹産業プラザ地下1F 「コミュニティビジネスサロン」
参 加 前田隆正、佐藤文一、平林幹朗 *不参加者:メールにて意見

第3回会合

日 時 2007年5月1日(火)午後6時-8時
場 所 新宿
参 加 前田隆正、茶谷達雄、平林幹朗

第4回会合

日 時 2007年5月17日(木)午後6時-8時
場 所 三鷹産業プラザ地下1F 「コミュニティビジネスサロン」
参 加 前田隆正、茶谷達雄、尾関敬二、平林幹朗

検討内容

1. 49回、50回研究会企画について
2. 部会「行政情報政策研究部会」の設立と現在の「情報政策研究会」の位置付けについて討議
3. 全国大会(9月8日~10日)における「自治体ワークショップ」の企画
4. 団体会員アンケート案の対象を個人会員へも広げる案

第5回会合

日 時 2007年8月9日(木)18:00-20:00
場 所 三鷹産業プラザ地下1F 「コミュニティビジネスサロン」
参加者 前田隆正、茶谷達雄、尾関敬二、吉井史郎、梅原寿夫、平林幹朗

検討内容

1. 今後(~08.3)の研究会開催企画案
2. 情報交流会予定
3. 情報政策研究会の位置づけ

[第47回情報政策研究会]

日 時 平成18年10月19日(木)15:00~17:00
会 場 (株)NTTドコモ
テーマ リアルタイム・マネジメントの基幹情報システム「DREAMS」
講 師 西川清二 (株)NTTドコモ執行役員・情報システム部長

[第48回情報政策研究会]

日 時 平成18年12月4日(木)15:00-17:00
会 場 全国町村会館
テーマ これからの地域情報化
講 師 植松浩二 総務省情報通信政策局地方情報化推進室長

[平成19年度 情報交流会]

日 時 平成18年12月4日(月) 17:00-19:00
会 場 全国町村会館

[第49回情報政策研究会]

日 時 平成19年5月25日(金) 13:30-16:30
会 場 富士ゼロックス(株)セミナールーム
テ - マ 「J-SOX法における内部統制整備のポイント」
講演1 「J-SOX法の概要/ITと内部統制」
NTTデータ(株) システムソリューション事業 鈴木 悦生
講演2 「富士ゼロックスのJ-SOX対応プロジェクト活動事例」

と推進上の勘所」

富士ゼロックス㈱ 営業本部 内部統制営業部長 河田 勝之

[第50回情報政策研究会]

日 時 平成19年7月6日(金) 13:30-17:00

会 場 全国町村会館

テーマ 「これからの防災について」

基調講演 「震災に強い都市づくり」国土交通省

都市・地域整備局まちづくり推進課 都市防災専門官 酒井康至

講演1 「首都直下地震をはじめとする多様な危機から都民を守る」

東京都の危機管理対策についてー

東京都総務局総合防災部防災管理課長 菊地俊夫

講演2 「大田区の防災事業について」

東京都大田区区民生活部防災課長兼危機管理担当課長 河野秀夫

* 「50回記念懇親会」 17:30-19:30

[学術委員会所管] (委員長 廣松 毅)

1. 組織体制

学術委員会委員長：廣松 毅 副委員長：刀川 眞 田中 秀幸
 学術委員会委員：赤堀 侃司@東京工業大学 阿部 昭博@岩手県立大学
 (アイウエオ順) 安藤 明之@東京経済大学 和泉 潤@名古屋産業大学
 遠藤 薫@学習院大学 太田 敏澄@電気通信大学
 岡田 勇@創価大学 兼田 敏之@名古屋工業大学
 木村 忠正@東京大学 熊田 禎宣@千葉商科大学
 小菅 敏夫@テ`ジ`列ハリウツ`大学 小林 宏一@早稲田大学
 五藤 寿樹@日本橋学館大学 櫻井 成一郎@明治学院大学
 佐藤 佳弘@武蔵野大学 島田 達巳@摂南大学
 須藤 修@東京大学 田中 秀幸@東京大学
 寺野 隆雄@東京工業大学 富山 慶典@群馬大学
 中井 豊@芝浦工業大学 新川 達郎@同志社大学
 根本 敏則@一橋大学 氷鮑 揚四郎@筑波大学
 福田 豊@電気通信大学 増田 祐司@島根県立大学
 松川 淳子@生活構造研究所 山本 佳世子@電気通信大学

2. 学術委員会開催

第1回学術委員会

日 時 平成18年10月31日(火) 19:00-19:20

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之(東経大)、岡田勇(創価大)、木村忠正(東大)、

五藤寿樹(日本橋大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、中井豊(芝浦工大)

議 事

1. 前回議事録の承認
2. 研究部会「情報社会経済システム」(継続)の確認
3. J-STAGE関連
4. 来年度科研申請
5. その他

第2回学術委員会

日 時 平成19年1月15日(月) 18:00-18:30

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之(東経大)、岡田勇(創価大)、廣松毅(東大)

木村忠正(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、

中井豊(芝浦工大)、田中秀幸(東大)、桜井成一郎(明治学院)

議 事

1. 前回議事録の承認
2. 学会ホームページ

第3回学術委員会(メールベース)

日 時 平成19年2月1日

学術委員会運営細則第6条に基づき、論文検討専門委員会を設置。

第4回学術委員会

日 時 平成19年3月2日(金) 15:00-17:00

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之(東経大)、廣松毅(東大)、木村忠正(東大)、

五藤寿樹(日本橋大)、中井豊(芝浦工大)、田中秀幸(東大)、

桜井成一郎(明治学院)、太田敏澄(電通大)、山本佳世子(電通大)、

遠藤薫(学習院大) [敬称略]

議 事

1. 第2回議事録の承認
2. 第3回（メールベース）議事の確認
3. 論文に関する検討専門委員会及び過去の表彰等の取り扱いについて
4. 第22回大会について
5. 学会ホームページについて
6. 学術図書について
7. その他
 - (ア) 部会設立
 - (イ) アンケート実施

第5回学術委員会

日 時 平成19年4月23日（月）18:00-19:30

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之（東経大）、廣松毅（東大）、木村忠正（東大）、
五藤寿樹（日本橋大）、田中秀幸（東大）、桜井成一郎（明治学院）、
山本佳世子（電通大）、遠藤薫（学習院大）、佐藤佳弘（武蔵野大）、
小林宏一（早大）、寺野隆雄（東工大）、木村忠正（東大）、
中井豊（芝浦工大）[敬称略]

議 事

1. 第4回議事録の承認
2. 不正論文に関する検討専門委員会及び過去の表彰等の取り扱いについて
3. 第22回大会について
4. 学会ホームページについて
5. 学位論文賞の審査担当について
6. 学術図書について
7. その他

大学院生発表会

第6回学術委員会

日 時 平成19年6月1日（金）18:00-19:30

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之（東経大）、廣松毅（東大）、木村忠正（東大）、
五藤寿樹（日本橋大）、田中秀幸（東大）、桜井成一郎（明治学院）、
山本佳世子（電通大）、遠藤薫（学習院大）、小林宏一（早大）[敬称略]

議 事

1. 第5回議事録の承認
2. 学位論文賞について
3. 優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞について
4. 第22回大会について
5. 大学院生発表会について
6. その他

第7回学術委員会

日 時 平成19年6月29日（金）18:00-19:30

会 場 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

出席者 安藤明之（東経大）、廣松毅（東大）、五藤寿樹（日本橋大）、
田中秀幸（東大）、中井豊（芝浦工大）、山本佳世子（電通大）、
遠藤薫（学習院大）、小林宏一（早大）、岡田勇（創価大）[敬称略]

議 事

1. 第6回議事録の承認
2. 優秀文献賞等について

3. 不正論文に関する検討委員会について
 4. 第22回大会について
 5. 大学院生発表会について
 6. 学会ホームページについて
 7. その他
3. 学会誌発行状況
19-1 2007年3月発行 # 19-2 2007年9月発行
4. 投稿論文数 ・ 学術論文：19件（8月31日現在）
5. 採択論文数
・ 学術論文：7件（過去1年間の状況）（採択率37%）
6. 学位論文賞、論文奨励賞
学位論文賞：博士論文
・ 論文賞 該当なし
・ 奨励賞 該当なし
学位論文賞：修士論文
・ 論文賞
上野 景真（東京大学大学院学際情報学府）
Intangibles and Economic Value Creation（無形財産と経済価値の創造）
・ 奨励賞 該当なし
優秀論文賞 該当なし
優秀文献賞 該当なし
論文奨励賞 該当なし
7. 研究部会 情報社会経済システム研究部会
環境・教育・GIS研究部会
社会統計調査研究部会
8. 内規の整備
9. HP の整備

[表彰委員会所管] (委員長 小菅 敏夫)

1. 委員会構成

- 委員長 小菅 敏夫(デジタルハリウッド大学教授)
- 副委員長 北村 歳治(早稲田大学教授)
- 委員 小林 宏一(早稲田大学客員教授)
- 前田 隆正(「SOHO CITYみたか」推進協議会)
- 太田 敏澄(電気通信大学教授)

3. 平成19年度学会各賞の選考

- ・学会功労賞 該当者なし
- ・社会情報システム賞
長沼町(北海道)
- ・優秀文献賞 該当者なし
- ・優秀論文賞 該当者なし
- ・論文奨励賞
- ・大学院学位論文賞
(学位論文賞:博士論文)
- ・論文賞 該当者なし
- ・奨励賞 該当者なし
(学位論文賞:修士論文)

論文賞

上野 景真(東京大学大学院学際情報学府)

Intangibles and Economic Value Creation(無形財産と経済価値の創造)

- ・奨励賞 該当者なし
- ・日本社会情報学会・秋山穰賞 該当者なし
- ・研究発表賞 *H19年度合同研究大会発表者から選考された者

*学会賞受賞者一覧をホームページへ掲載

【第2号議案 平成19年度収支中間報告】

(自 平成18年10月1日 至 平成19年8月31日)

収入の部

| | 科目 | H19年度予算 | H19年度実績 | 対予算 | 備考 |
|---|-------|-----------|-----------|----------|-------------|
| | 正会員会費 | | | | |
| 1 | 個人会員 | 4,743,000 | 4,647,500 | -95,500 | 376名 |
| 2 | 団体会員 | 1,600,000 | 1,550,000 | -50,000 | 27社 |
| | (会費計) | 6,343,000 | 6,197,500 | -145,500 | |
| 3 | 雑収入 | 300,000 | 324,546 | 24,546 | 学会誌、情報通信月間他 |
| | 収入合計 | 6,643,000 | 6,522,046 | -120,954 | |
| | 前年度繰越 | 1,471,770 | 1,471,770 | 0 | |
| | 合計 | 8,114,770 | 7,993,816 | -120,954 | |

支出の部

| | 科目 | H19年度予算 | H19年度実績 | | 備考 |
|----|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------------|
| 1 | 学会誌印刷費 | 2,000,000 | 356,737 | 1,643,263 | 学会誌19-1 |
| 2 | 研究会開催費 | 500,000 | 330,211 | 169,789 | 会場費、講師謝礼他 |
| 3 | 全国大会補助金 | 150,000 | 150,000 | 0 | 合同研究会補助金 |
| 4 | 分科会補助金 | 325,000 | 275,000 | 50,000 | 部会補助、横幹会費 |
| 5 | 学会賞作成費 | 150,000 | 10,060 | 139,940 | 盾、賞状他 |
| 6 | 会員名簿作成費 | 100,000 | 198,912 | -98,912 | 会員名簿2007年度版 |
| 7 | 通信費 | 600,000 | 458,542 | 141,458 | 電話、インターネット、郵送他 |
| 8 | 印刷費 | 700,000 | 356,790 | 343,210 | 学会通信、封筒、資料他 |
| 9 | 事務費(事務所費) | 600,000 | 300,000 | 300,000 | 事務所(H19.1-H20.12) |
| 10 | 事務管理費 | 1,890,000 | 1,890,000 | 0 | 業務委託(H18.10-H20.3) |
| 11 | 備品費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| 12 | 会議費 | 100,000 | 41,655 | 58,345 | 会場費他 |
| 13 | 消耗品費 | 200,000 | 126,963 | 73,037 | トナリ、ラベル、用紙他 |
| 14 | 雑費 | 150,000 | 111,680 | 38,320 | 振込手数料他 |
| 15 | 支部補助金 | 225,000 | 225,000 | 0 | 3支部補助金 |
| 16 | 予備費 | 150,000 | 115,000 | 35,000 | 交流会補助他 |
| 17 | 学会誌17-2再発行引当金 | 0 | 252,525 | -252,525 | |
| | 支出合計 | 7,940,000 | 5,199,075 | 2,740,925 | |
| | 繰越金 | | 2,794,741 | | |
| | 合計 | 7,940,000 | 7,993,816 | | |

平成 19 年度特別会計【秋山賞基金】収支報告

H19 年 8 月 31 日現在

| | |
|------|-----------|
| 金額合計 | 2,603,306 |
| 収入の部 | |
| 繰越金* | 2,600,035 |
| 利息 | 3,271 |
| 収入合計 | 2,603,306 |
| 支出の部 | |
| | 0 |
| 支出合計 | 0 |
| 繰越残高 | 2,603,306 |

* 平成 16 年電子推進協議会から秋山賞基金として 3,000,000 円の寄付を受け、
これまで平成 16 年 9 月秋山賞として 400,000 円を支出している。

平成 19 年度特別会計【全国大会】収支報告

H19 年 8 月 31 日現在

| | |
|-------------------------|---------|
| 金額合計 | 117,476 |
| 収入の部 | |
| 繰越金 | 313,496 |
| H18 年度合同大会準備金立替返還 金 | 500,000 |
| 利息 | 435 |
| 収入合計 | 813,931 |
| 支出の部 | |
| H19 年度合同大会準備金立替 | 500,000 |
| 振込手数料 | 3,255 |
| H18 年度合同大会 J-STAGE テーマ化 | 126,000 |
| H18 年度合同大会テーブルおこし代 金 | 67,200 |
| 支出合計 | 696,455 |
| 繰越残高 | 117,476 |

【第3号議案 理事・会長選出の承認】

平成19年度理事選出要綱に基づき、次期理事が下記のとおり、平成19年9月1日開催第8回理事会において承認されました。

<アイエィ順>

| | 氏名 | 所属機関・部門 |
|----|-------|-------------------------------------|
| 1 | 安藤 明之 | 東京経済大学コミュニケーション学部 教授 |
| 2 | 石田 亨 | 京都大学情報学研究科社会情報学専攻 教授 |
| 3 | 和泉 潤 | 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授 |
| 4 | 今井 雄一 | トッパン・フォームズ(株) 執行役員・企画本部長 |
| 5 | 内山 哲治 | 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授 |
| 6 | 遠藤 薫 | 学習院大学法学部 教授 |
| 7 | 太田 敏澄 | 電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授 |
| 8 | 岡田 勇 | 創価大学経営学部 准教授 |
| 9 | 岡田 英樹 | (株)NTTデータ第一公共事業本部 e-コミュニティ推進事業部事業部長 |
| 10 | 尾関 敬二 | 自治・人財・情報研究所 代表 |
| 11 | 木村 忠正 | 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 |
| 12 | 清原 慶子 | 三鷹市 市長 |
| 13 | 熊田 禎宣 | 千葉商科大学政策情報学部 教授 |
| 14 | 小郷 直言 | 大阪大学大学院経済学研究科 准教授 |
| 15 | 後藤 玲子 | 茨城大学人文学部 准教授 |
| 16 | 五藤 寿樹 | 日本橋学館大学人文経営学部 教授 |
| 17 | 小林 宏一 | 早稲田大学大学院政治学研究科 客員教授 |
| 18 | 小向 鋭一 | (株)ジェイエスキューブ 常務取締役 |
| 19 | 桜井成一郎 | 明治学院大学法科大学院 教授 |
| 20 | 佐藤 佳弘 | (株)情報文化総合研究所 代表取締役所長 |
| 21 | 真田 英彦 | 追手門学院大学経営学部 教授 |
| 22 | 篠原 健 | 追手門学院大学経営学部 教授 |
| 23 | 島田 達巳 | 摂南大学経営情報学部 教授 |
| 24 | 小豆川裕子 | (株)NTTデータ 技術開発本部システム科学研究所 主幹研究員 |
| 25 | 須藤 修 | 東京大学社会情報研究所/学際情報学環 教授 |
| 26 | 財部 忠夫 | 中村学園大学・流通科学部 教授 |
| 27 | 田中 秀幸 | 東京大学大学院情報学環 准教授 |
| 28 | 寺野 隆雄 | 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻 教授 |
| 29 | 富山 慶典 | 群馬大学社会情報学部 教授 |
| 30 | 中井 豊 | 芝浦工業大学システム工学部 教授 |
| 31 | 根本 敏則 | 一橋大学大学院商学研究科 教授 |
| 32 | 平野 浩 | 学習院大学法学部 教授 |
| 33 | 平林 幹朗 | キャリア・アップ企画 代表 |
| 34 | 廣松 毅 | 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授 |
| 35 | 福田 豊 | 電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授 |
| 36 | 前田 隆正 | 「SOHO CITYみたか」推進協議会 会長 |
| 37 | 山本佳世子 | 電気通信大学大学院情報システム学研究科 准教授 |
| 38 | 山森 俊彦 | エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株) 代表取締役社長 |

会長選出要綱に基づき、上記の理事による会長選出投票が、平成19年8月1日より同月10日に行われました。

8月20日開催の選挙管理委員会において開票され、須藤修氏が選出され、平成19年9月1日開催第8回理事会において承認されました。

【監査人の承認】

監査人 辻井重男（情報セキュリティ大学院大学） 刀川眞（室蘭工業大学）

【日本社会情報学会 平成19年度学会賞】
<平成19年9月8日 表彰>

日本社会情報学会 平成19年度・社会情報システム貢献賞（団体）
長沼町（代表 町長 板谷利雄）

[表彰事由]

石狩平野南東部の長沼町（人口約13,000）は農業を中心とした町である。

2000年度に4,500戸の全所帯にブロードバンド環境整備を決め、町の中心部には行政系、住民系共に100MbpsのFTTH(ファイバー網)を敷設し、周辺部には最大3Mbpsの無線LANの基地局を設置し、町内全体をカバーするネットワークを構築した。それに伴い住民へのITリテラシー講習を積極的に行なってきた。また、住基カードを住民票、印鑑証明の自動交付機のほか、健康作りのための温泉ジム、ゴルフ場などの多目的に利用し、人口比普及率では33.1%と全国町村のトップである。長沼町は、町内情報化、住民サービスのみならず情報セキュリティにも力を入れており総合的に優れており社会情報システム貢献賞に相応しい。以上、貴町のIT施策による電子行政を推進した取り組みと社会情報システムへの貢献に対して深い敬意を表し、ここに日本社会情報学会・社会情報システム貢献賞（団体）を贈り表彰します。

日本社会情報学会・学位論文賞（修士論文・論文賞）
上野 景真（東京大学大学院学際情報学府）

論文標題

「Intangibles and Economic Value Creation（無形財産と経済価値の創造）」

[表彰事由]

情報通信関連投資が、知識コミュニティの形成を促進し、企業の無形資産を増大させているプロセスを定量的データをもとに分析した本論文は、明確な問題設定、綿密な先行研究のサーベイをもとに、的確なモデル設定とそれにもとづく丹念な実証分析がなされており、これまであまり着目されることのなかった無形資産の経済価値創出に関する研究分野において、オリジナルな所見を提示するものとして高く評価される。

**第14回社会情報システム学シンポジウム(第110回定例研究会)
参加者募集**

主催 社会情報システム学研究会
共催 経営情報学会 社会情報と情報組織化研究部会
日本社会情報学会 環境・教育・GIS研究部会
電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

社会情報システム学研究会では、平成20年1月25日(金)に、第14回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「社会情報と情報組織化」研究部会、日本社会情報学会「環境・教育・GIS」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集を発行いたします。

また、学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース JDream の JSTPlus に収録されます。

ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、詳細は、<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/iss14th.html> をご覧下さい。

日時：平成20年1月25日(金) 10:30～17:00

会場：電気通信大学情報システム学研究科棟 2 F 233 (大会議室), 中会議室

(〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1,

京王線：調布駅(北口)下車、徒歩9分、

大学ご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/map.html>

キャンパスご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/campusnai.html>

プログラム：

10:30～12:00 一般セッション講演

12:00～13:00 休憩

13:00～15:30 一般セッション講演

16:00～17:00 特別講演 田中秀幸(東京大学大学院情報学環・学際情報学府准教授)
「地域情報化と内発的経済発展(仮題)」

懇親会：17:30～19:30 ハルモニア(大学会館3階, 学内)

参加費：個人3,000円, 登壇者5,000円, 法人10,000円, 懇親会費5,000円

事前振込の場合, 各500円引きとなります。

2008年1月19日(金)までにお振り込みの上, 受領証をお持ち下さい。

郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局

研究会代表 太田敏澄 Fax&Tel: 042-443-5660 e-mail: ohta@is.uec.ac.jp

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 情報システム運用学専攻

社会情報システム学講座 [URL:http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/](http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/)

事務局だより

* 会費納入のお願い

今年度および過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp